

恭賀新年

食べよう!

地産地消特集

ながれやまそだち



新年のごあいさつ

「住み続ける価値」を 高めるための施策づくり

流山市長 井崎 義治



皆様、明けましておめでとうございます。健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

つくばエクスプレス開通から20年を迎える中、「都心から一番近い森のまち」として発展してきた市の魅力を一層高められるよう、市政経営に全力で取り組んでまいります。

本年3月29日には、白みりん発祥の地をPRし、白みりんについて学び・体験できる「白みりんミュージアム」が流山本町にオープンします。流山本町地域の新たなツーリズムの拠点として、地域の活性化を進めてまいります。

4月には消防本部・中央消防署が地盤の良い大群地区に移転して供用を開始する予定です。建物の高層化と大規模災害への対応力を強化した新たな防災拠点として生まれ変わります。

南流山駅周辺のさらなる発展を目指し、昨年7月に「南流山駅周辺地区まちなみづくり促進奨励金制度」を創設しました。この制度を通じて、「住みたい・訪れたい」を創り出す、快適な都市環境の創出に取り組んでまいります。また、江戸川台駅東口の整備や初石駅の橋上駅舎化についても引き続き進めてまいります。

昨年、特別な配慮が必要な乳幼児が円滑に保育園へ入園できるよう、受け入れ体制を整備しました。本年は私立幼稚園においても受け入れ支援の拡充を図ってまいります。

今後も「住み続ける価値」の高いまちを目指して、職員一丸となって前進してまいります。

結びに、本年が皆様にとって、希望に満ちた素晴らしい一年となりますことを心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。

「市勢」発展に向けて

流山市議会議員 坂巻 儀一



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、心穏やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

全国的には少子高齢化が大きな問題となっていますが、本市では、子育て施策やまちづくり施策が功を奏し、10年間で人口が約4万人増加しており、児童・生徒数も増加しています。教育環境の充実のためには、急増する児童・生徒数の受け入れが課題となっていました。昨年、市野谷小学校と南流山第二小学校が新規開校するとともに、南流山中学校が移転開校しました。

市の人口は、今や21万3千人を超え、全国の議会からも多くの方々に行政視察でお越しいただくなど、注目度が高まっています。まちの発展が進む一方、それぞれの地域において、施設の老朽化や各公共施設の利便性向上のためのリノベーション、ご年配の方が多い地域の公共交通手段の構築など課題があります。「誰一人取り残さない」施策を推進できるよう、真摯な議論を重ねて諸課題の解決に全力を尽くしてまいります。

市議会としては、議会報告会などを通じ、市民の皆様の声に耳を傾けるとともに、委員会審査の運営方法の見直しなど、議会改革を行っております。今後も、市勢発展に向け全力で取り組むことに加え、福祉の充実・向上につながる取り組みを行ってまいります。皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

生産者インタビュー

流山産をつくる農家

カッコいい

流山の農家は、直売所やスーパーマーケット、観光農園などを通して、私たちに新鮮な野菜や果物を提供するとともに、まちの中にある生きた農業の姿を見せてくれます。今号では、あなたの暮らしのすぐ隣にいる農家の皆さんを紹介します。 問農業振興課 ☎ 7150-6086

うちのフルーツにはふるさと愛が詰まっています

キウイから始めた果樹園

オーチャードガーデン株式会社水代果樹園は、JR南柏駅からも近い旧水戸街道沿いの観光農園。水代家は、約400年前から続くともいわれる歴史ある農家です。

「農家を継ぐまで働いていた青果市場では、果樹担当で営農指導もしました。そこで、自分の代では果物を始めようと、まず植えたのがキウイです。野菜だと父の指図が入るけれど、キウイなんて父は当時食べたこともないから口出しできない(笑)。そんな思惑もあった挑戦でした。流山市観光果樹組合に入会し、次にブドウを植えました」

宅地と隣接するおよそ2.3ヘクタール(2万3,000平方メートル)の農園は、春はアスパラガス狩り、夏はブドウとブルーベリー狩り、秋はサツマイモ掘りとキウイ狩り、冬はイチゴ狩り、と年間を通して収穫体験ができる観光スポットになりました。キウイ棚の木陰で楽しむバーベキューガーデンも人気で、併設の直売所で採れたてのナス、ピーマン、玉ねぎなどを購入して調理することも好評です。自分でもぎ取った果物や旬の野菜をその場で味わう特別な1日を、家族や仲間同士の恒例イベントにしている人も多いそうです。



頭上にキウイが実るバーベキューガーデンには屋根があり、雨の日でも楽しめる

食育に都市型農業の真価あり

ブドウ栽培は手がかかるにもかかわらず、県内最大級だったブドウのハウスが大雪で倒壊するといった災害に見舞われた年もあったそうです。それでも、観光農園事業を柱に野菜の直売と出荷、区画で貸し出す体験農園と、地域に暮らす人のニーズに応える都市型農業を、水代さんは追求してきました。流山の人に食べてほしいという思いから、作物の出荷は果樹園の向かいのスーパーマーケットと市内の直売所に限られています。

市の農業委員の顔も持ち、流山の農地を守ることに取り組む水代さんは、近年意欲を持っていることに「食育」を挙げます。

「食育は都市型農業の価値を生かせる大きなテーマだと思います。同じ空気で育ったものが一番体に合うはず。流山産の食材をもっと子どもたちに知ってもらい、食べてもらいたい。今後は地元農家と子どもたちの「食」をつなげることに積極的に取り組んでいきたいです」

市内の農家さんたちと連携し、若い世代がどんな農業をしたいかにも耳を傾けたいと語る水代さん。子どもたちの未来と、農業の後継者を守るというふるさと愛は尽きません。

水代果樹園(みずしろかじゅえん)

オーチャードガーデン株式会社水代果樹園 CEOの水代啓司さんは、向小金の農家に生まれ、青果市場勤務を経て家業を継ぐ。1980年代から果樹栽培に挑み、フルーツ狩りやバーベキューを楽しめる観光農園に発展させた。流山市農業委員会の会長も務める。



サツマイモ掘りは季節を体感する年中行事。市内外から幼稚園や保育園の子どもたちが毎年訪れる



果物と野菜の直売コーナー。年代物がズラリと並ぶスタッフ手作りの梅干しもファンが多い

流山の農業に約半世紀携わる水代さんに聞きました

かつては首都の消費を支える東京近郊の農村だった流山も、現在は消費地の中にあるといえる都市型農業の地です。市街地化で農地は減る一方なので、大規模な農業は困難ですが、小規模な農地で少量多品目を生産し、都市部のメリットを生かして、直売や近隣スーパーマーケットへの出荷などに取り組む農家が多いです。

消費者も多いので作れば何でも売れるのですが、なりわいとするには単価が高いものを作っていく必要があります。ハウスなどを使わない露地栽培で野菜を作る農家は、そのような観点から、ホウレンソウ、エダマメ、ネギなどを主力品目としています。

専業農家は少なく、観光農園の経営や不動産業などと兼業す

流山の農業とは？

る農家がほとんど。後継者がいない悩みも抱えています。また、消費地が近いが故に、肥料をまいたり、薬剤を散布したりする際、近隣の方々への影響をゼロにすることが難しいことや、強風時の土ぼこりなどでご迷惑をおかけしてしまうこともあります。それでも、地産地消への貢献、収穫体験や体験農園の提供と指導など、みんな市民との交流には積極的。新鮮な農産物を地元の皆さんにお届けしたいという一心で農業に取り組んでいます。

緑の耕作地は、潤いの空間であり、災害時には避難場所などとなる機能も併せ持っています。ぜひ、この特集を通して流山の農業に関心を寄せていただき、皆さんの食卓に流山産の農産物を取り入れていただければうれしいです。



家族と仲間で作る小松菜と青ネギに自信あり



中山農産(なかやまのうさん)

年10トン以上の小松菜を生産するなど市内では規模の大きい専門の野菜農家。所在地は中。農業研修生の受け入れや就労継続支援B型事業所との連携、学校給食への出荷などにも取り組んでいる。(写真=中央:中山友和さん、右:長男の晶斗さん、左:次女の玲菜さん)



青ネギは根を残して刈る。2月に定植し、多ければ年5回ほど収穫できるが病害にも細心の注意が必要



選別や計量など役割分担で整然と進む小松菜の出荷準備。学校給食用は大袋に詰めて直接配達している

一人でできないから農業は面白い

2024年9月、中山友和さんの「中山農園」は、長男の晶斗さん(当時20歳)が代表の「中山農産」へと、代替わりに伴って名称も変わりました。市内と近隣市に点在する合計10ヘクタール(10万平方メートル)もの畑をトラックで東奔西走しながら、小松菜6:青ネギ4の割合で生産する専門農家です。自身も20代で継いだので息子に託したまでだと語る友和さんは、まだ40代の現役バリバリ農業人。

「とにかく昔から家族総出の農家です。自分もそうだしうちの子どもらも小さい頃から手伝いをしていました。今は小学生の次男以外は頼りになる働き手。家族での農業は、やらなくちゃいけないことを全員が分かっているのが効率がいいです」

中山農産の規模ともなると、家族経営ながらそれ以上の人員は必須で、まさにチームワーク。農業研修生やアルバイト、地元事業所の人の手を借りつつ、より質の高い野菜を鮮度抜群で届けるために汗を流しています。中山家の子どもたちのお手伝いは、農業のやりがいやおもしろさの原体験になるのでしょうか。

子どもたちへ本物の味を届ける

青ネギは、青い葉の鮮やかさと香り、やわらかな食感が持ち味です。以前は友和さんが父から教わった長ネギを作っていました。病害に悩まされ、茨城県古河市の農家に青ネギ栽培を学びに出向き、5年前に切り替えました。

小松菜は、農産物を取引している業者からの「需要が追いつかないから作ってくれ」という声に応えて始めました。今では多い時は月1.5トンも出荷し、市内全ての小学校と、いくつかの保育園にも配達しています。

「給食の時間こそ生きた授業ですよ。そこに本物の味を届けることで関わってうれしいです。流山の野菜を知ってもらうため、10年前から小学生の収穫体験もやっています。畑にいと、顔を覚えた小学生が中山さ〜んと呼んでくれたりして。元気が出ます」

家族が農業に打ち込める環境づくりをもっと頑張る、という気持ちで奮闘する友和さんにとって、地域の子どものあいさつは疲れを吹き飛ばしてくれる一服の清涼剤です。

朝採りの完熟イチゴは地産地消のスターです

イチゴの1年は13カ月

「藍川園芸」は、真っ赤なイチゴにトマト、青々としたワケネギ、黄色いトウモロコシと、食欲をそそるカラフルな作物をハウスと露地で育て、直売やスーパーマーケットで委託販売しています。40アール(4,000平方メートル)のハウスと4ヘクタール(4万平方メートル)の露地で、年間を通した収益を目指す複合経営の専門農家ですが、地域の人には「イチゴの藍川さん」と親しまれています。

藍川英樹さんの父が、花の栽培用に建てたハウスをイチゴに転用したのは25年前。ただ、16年前に継いだ英樹さんは当初、イチゴ以外の作物を増やすことも検討したそうです。

「でも、直売所に買いに来てくれる地元の人の喜ぶ顔や、自分に子どもができて、おいしそうにイチゴを食べるのを見て、イチゴの価値を再認識しました。売り上げも伸び始めたんです」

イチゴとの巡り合わせを感じながらも、腰に負担がかかる収穫作業や、忙しい収穫時期に翌年の育苗を始めなければならない「イチゴの1年は13カ月」とされる厳しいスケジュールに取り組んでいます。

採れたてのおいしさがこだわり

栽培している品種は、とちおとめ、やよいひめ、紅ほっぺ、ほしうらら、スターナイト、おいCベリーなど。最近の取り組みは、2025年3月が3シーズン目となるイチゴ狩りです。

「うちのイチゴは土耕栽培。土壌から栄養をたっぷりもらった、イチゴ本来の味が自慢です。それをもっと知ってもらうために始めました」

藍川園芸がイチゴを市場出荷しないのは、朝採りの完熟のおいしさにこだわっているから。「一度ここのイチゴを食べたら、地方のブランド物だとしても他のイチゴは食べられない」と最高のほめ言葉をくれるお客さんもいます。かんきつ類など皮の厚い果物より繊細なイチゴは、地産地消に向いているともいえます。採れたてのイチゴを入手できる流山市民はラッキーです。イチゴの収穫は例年1月から5月いっぱい。藍川園芸のハウス前の直売所で毎朝9時30分から販売されるイチゴたちは、ちょうど今、赤く色づいていることでしょう。



藍川園芸(あいかわえんげい)

イチゴ、ワケネギ、トマト、トウモロコシなどを生産する専門農家。所在地は前ヶ崎。ホームページなどのイチゴのイラストがトレードマークで、直売とイチゴ狩りに注力している。近隣スーパーマーケットでも委託販売。(写真=右:藍川英樹さん、左:妻の由美子さん)



直売やイチゴ狩りの最新情報は藍川園芸のホームページをチェック!



ミツバチは古くからイチゴ栽培に欠かせない。花を受粉するためにハウス内に放たれている



予約をすれば厳選した大粒を並べたデラックスパックも注文OK。流山自慢のお土産にも

みんなで^{ひろ}拡げよう!

「地産地消」とは、地域で生産された農産物を地域で消費する取り組み。新鮮な食材を味わえるだけでなく、生産者の顔が見える関係づくりや、地域経済の活性化、食料自給率の向上、輸送距離の削減による環境負荷の軽減にもつながります。

#味わう

市内には、流山産の農産物を購入できる直売所や朝市がたくさんあります。流山産ならではの新鮮な農産物を購入しておいしくいただきましょう。

こんなに
ある!?

流山産農産物が買える 直売所・朝市



お願い
年末年始は各直売所ともに休業しています。「直接のご連絡はお正月が明けてから」にご協力をお願いします。

各直売所の詳細は市ホームページでチェック

採れたての農産物が大人気 / 新鮮食味(しんせんぐみ)

流山に縁がある幕末の志士たち、新選組を文字った「新鮮食味」は、市内の生産者による採れたての農産物が集まる地産地消の拠点です。野菜、果物、花、加工品などを納品する農家は現在約60組。白菜を丸ごとや米を30キロほしいといった買い物から、梨を1個だけ買いたい気分まで、お客さまのさまざまな要望にも応えています。「スーパーマーケットより新鮮で安くて質がいい。例えば、パプリカの身の厚さややわらかさには驚きます。ベテラン販売員さんが献立のヒントをくれるのもありがたい」といった常連客の声も。店内に掲示されている生産者の紹介ボードからは、流山の農業を身近に感じられます。

DATA

場所 大畔64-1(コミュニティプラザ内)
営業時間 9時30分～14時30分
定休日 月曜(祝日の場合は営業)、お盆(8月13日～15日)、年末年始(12月31日～1月7日)
駐車場 あり
☎7155-7015



食べたことのない食材の調理方法も気軽に尋ねてください。販売員は「しゃべるレシピ」です!



店長の安藤さん(左)と
開店当時からスタッフとして働く須賀さん(右)

いいことありそう利根運河 / うんが いい! 朝市

近隣農家の新鮮野菜や花、手作り雑貨、地域の商店の弁当や和洋菓子などのお店が並び、ワークショップやゲームも楽しめる催しです。

2024年11月23日は、「ひと月早いクリスマス」がテーマで、スタッフもサンタに扮してクリスマス気分を演出。流山高校園芸コースの皆さんが育てた大人気のシクラメンもあつという間に完売し、ワークショップでは子どもたちがアドベントカレンダー作りに夢中になっていました。

DATA

場所 東深井368-1(運河水辺公園)
※東武アーバンパークライン運河駅下車徒歩6分
開催日時 第4土曜9時～13時※不定期開催。次回は3月に開催予定
☎7153-8555(利根運河交流館)※月・火曜休館、祝日の場合は翌日



利根運河に見守られる「お店もお客も地元人」な催し

西初石で頑張る小売店
トミーマートです。手作りの
お総菜もあるのでお店
にもぜひ来てください!

スーパーマーケットの 「地元産野菜コーナー」

案外お手頃価格で手に入れられるものも多い地元産野菜コーナー。生産者の顔が見える安心・安全な野菜を購入して、地産地消に貢献しませんか。



#作る

レッツ! クッキング! 流山産小松菜レシピ



カルシウムなどの栄養素がたっぷりで優秀な食材「小松菜」。小松菜をおいしく食べて「骨貯金」をしませんか?

関 保健センター ☎7154-0331

こまツナあえ

《材料(2人分)》
小松菜…80g
(さっとゆでて3cmに切る)
ツナ(水煮缶)…24g
かつお節…1g
ポン酢…小さじ1/2

《作り方》
①小松菜、ツナ、かつお節に
ポン酢を加えてあえる



カルシウムたっぷりシュウマイ

《材料(2人分※1人4個)》
豚ひき肉…80g
小松菜…40g(みじん切りにしてしぼる)
玉ねぎ…40g(みじん切り)
スキムミルク…小さじ2
さとう…小さじ1/2
酒…小さじ1
しょうゆ…小さじ1/3
しょうが…小さじ1/5
こしょう…少々
片栗粉…大さじ1
塩…小さじ1/6
ごま油…小さじ1/2
シュウマイの皮…8枚
ホールコーン…12粒(かざり用)
サラダ菜…2枚/プチトマト…4個
ポン酢…小さじ2(お好みで)

《作り方》
①ボウルに豚ひき肉、小松菜、玉ねぎ、スキムミルクを入れ、Aの調味料を加えてよく混ぜる
②①の具を8等分し、シュウマイの皮で包んでコーンをかざる
③蒸し器が沸騰したら②を12分～15分ぐらい蒸す
④盛り付けは、サラダ菜にシュウマイをのせてプチトマトをかざる

地産地消の輪

問農業振興課 ☎ 7150-6086

そんな地産地消の輪を広げるため、流山市では「味わう」「作る」「伝える」「体感する」をキーワードに、さまざまな取り組みを展開中。農家さんと消費者をつなぎ、「食」と「農」の魅力を発信しています。みなさんも、地元の恵みを楽しみながら、持続可能な地域づくりに参加してみませんか。

#伝える

市では、地域の農産物を使用した学校給食や生産者との交流、農業体験など、子どもたちに向けてさまざまな食育活動を行っています。



保育園で

問 保育課
☎ 7150-6124

「おいしい!」で広がる食育の輪

「サツマイモってどうやって大きくなるの?」「どのような食べ方が一番おいしいの?」元気な声が向小金保育所で飛び交います。この日は前ヶ崎の農家・染谷さんがサツマイモを実際に見せながら、子どもたちが考えた質問に一つひとつ丁寧に答え、食材への理解を深めていきます。交流会では、染谷さんが丹精込めて育てたサツマイモを使用した大学芋がおやつとして提供され、子どもたちは「おいしい!」と満足げな笑顔で頬張る姿も。公立保育所の取り組みは、「おいしい!」の感動を通じて、子どもたちの食育を推進しています。



根っこをついたサツマイモに興味津々の子どもたち

農業体験で

お米づくり体験を通して豊かな感性を

日本人の主食のお米に親しみ、稲作を理解してほしいという思いから、西深井小学校5年生の農業体験は10年以上前から続いています。普段食べているお米ができるまでの流れを体験することで、米生産の大変さや収穫の喜びを実感できるとともに、自然に感謝する心を育てます。

子どもたちは5月の田植えと9月の稲刈りを体験し、脱穀してもらったお米で調理実習をします。教えてくれるのは、およそ400年続く農家・西深井の石井農園。現在もうるち米用8反(約8,000平方メートル)、もち米用3反(約3,000平方メートル)の広さで稲作に取り組んでいます。

稲刈り体験では、子どもたちは汗を拭いながら黄金色に実った稲穂をつかみ、鎌でザクザクと丁寧に刈り取りました。刈った穂を積み上げ、子どもたちからは笑顔があふれます。「意外と力があるのでびっくりしました」「調理実習で食べるのが楽しみです」とイキイキした表情で話してくれました。



土の感触を楽しんだ田植え体験



残暑をものともせず真剣に稲を刈る子どもたち



「お米はこうやって育つんだと分かりました」

みんなが普段食べているのがうるち米。うちも含めこの辺りはみんなコシヒカリです。もち米は手間がかかるので作り手が減りましたが、うちが作っているお米は皇室の神事にも使われるマンゲツモチという高級品種。おいしいので西深井の直売所ですぐ売り切れますよ。



石井農園・石井まさ子さん

小学校で

問 学校教育課
☎ 7150-6104

地元食材を「生きた教材」に

地元農家などから栽培の苦労や収穫のタイミングなどを学ぶとともに、給食に使用するグリーンピースのさやむきやトウモロコシの皮むきなどの下処理体験を通して「生きた教材」として地元食材に触れることで、食への関心を持ち、進んで食べようとする意欲を高める食育に取り組んでいます。また、調理の作業風景を動画で紹介するほか、当日の献立に使用している地元食材を資料で配信するなど、ITを活用した食育にも取り組んでいます。



トウモロコシの皮むき体験を通して食材と向き合う



給食の前に使用されている食材の学びを深める

#体感する

気軽に体験! 手ぶらでもできる! 体験農園(8面に関連記事)

農業の専門家にサポートしてもらいながら野菜作りの基本を学べます。野菜作りの知識や用具がない方でも土作りから収穫まで楽しめますので、週末の家族の触れ合いや新たな趣味の一つとして、また、健康維持の一環として利用してみたいはいかがでしょうか。

問 農業振興課
☎ 7150-6086



詳細はコチラ



自由な野菜作りにチャレンジ! 市民農園

こうのす台、西深井、駒木台、大畔、名都借の5つの農園を市民農園として貸し出しています。区画分けされた農地を借り、年間を通して自由に農作業を行うことができます。自分の好きな食材を自分の手で育ててみたい方などにおすすめです。※12月24日現在、いずれの農園も空き区画がありません。最新情報は流山市シルバー人材センターのホームページをご覧ください。問 流山市シルバー人材センター ☎ 7155-3669



スキマ時間も有効活用 1日から可能な「農業バイト」も

最近では、スキマ時間や休みの日にだけ単発でできる「農業バイト」の農業体験も増えています。スマートフォンなどで「1日農業バイト」「千葉県農業求人サイト」などと検索すると、あなたの条件に合った求人情報が見つかるかもしれません。「体験農園・市民農園をやれるほどの時間はないけれど農業に興味がある」「本業とは別に副業を持ちたい」など、さまざまな方がいらっしゃいます。新しい形の農業体験に、ぜひご応募ください。

講座・イベント

★向小金福祉会館の講座・イベント

①無料スマートフォン入門講座
日 1月10日(金)13時～14時 内 基本的な操作方法 費無料 器 スマートフォン
※購入予定の方向けの貸し出しあり

ID 1048092

②ハンドメイド教室
プリザーブドフラワーなどでワインをラッピングします。バレンタインや卒業、退職、お祝いなどの贈り物にいかがでしょうか。



日 2月1日(土)13時～15時
講 エム・ポワール主宰・藤本ますみさん
費 3,000円(材料・ワイン代含む)
持 はさみ、ピンセット、両面テープ、持ち帰り用の袋※費用に含まれているワインの他にラッピングしたい瓶類の飲み物がある方はお持ち込みください。

ID 1048016

【共通事項】
所 向小金福祉会館
対 市内在住・在勤・在学の方
定 8人(先着順)
申 1月4日9時から電話
問 向小金福祉会館 ☎7173-9320

★おもちゃ病院

おもちゃドクターが壊れたおもちゃを修理します。

日時	場所・問い合わせ
1月11日(土) 13時～15時30分	森の図書館 ☎7152-3200 ID 1048191
1月12日(日) 9時～11時30分	文化会館 ☎7158-3462
1月15日(水) 9時30分～11時30分	おおたかの森センター ☎7159-7031
1月25日(土) 9時30分～11時30分	グリーンセンター ☎7157-7411 ID 1016384

費 無料(材料代がかかる場合あり)

申 不要

★北部公民館の講座・イベント

①リズムストレッチング
日 1月15日(火)13時～14時30分
講 (公財)日本スポーツクラブ協会公認中高老年期運動指導士・秋元菊江さん
定 20人(先着順)
②歌のひろば
日 1月16日(水)13時30分～15時
講 音楽講師・比嘉りとさん、石塚りんさん
定 100人(先着順)

③新春を寿ぐ 祭り囃子とお神楽
日 1月18日(土)13時30分～14時30分
▷出演＝おおたかの森お囃子会
定 100人(先着順)



④みんなでリフレッシュ
歌と軽い体操でリフレッシュしませんか。
日 1月22日(火)13時～14時30分
講 流山音楽療法「元気にドレミ」・小金丸尚子さん、岩附敬子さん 定 30人(先着順)
【共通事項】
所 北部公民館 費 無料 申 不要
問 北部公民館 ☎7153-0567

★東部公民館の講座・イベント

①なつかしき歌声サロン
日 1月24日(金)13時～14時30分
講 フォークシンガー・有吉かつこさん
定 20人(先着順) 持 飲み物 申 不要
②いきいき健康体操
ふくらはぎのマッサージと太極拳を取り入れた転倒防止の運動を行います。
日 2月3日(月)9時30分～11時30分
講 楊名時太極拳講師範・戸部省三さん
定 16人(先着順) 持 5本指ソックス、タオル、飲み物 申 電話または直接窓口へ
【共通事項】
所 東部公民館 費 300円
問 東部公民館 ☎7144-2988

★水引しおりを作ろう

日 1月26日(日)10時～12時
所 サンコーテクノプラザ
対 中学生以上 定 15人(先着順) 費 500円(材料代)
申 1月7日9時からサンコーテクノプラザ南流山地域図書館に電話または直接窓口へ
問 同地域図書館 ☎7159-4000
ID 1048189



★はじめてのデッサン 手のクロッキー

日 1月28日(火)10時～12時
所 野々下福祉会館 講 アートハウス
いろいろ所属造形作家・上谷知沙子さん
対 市内在住・在勤・在学の方
定 10人(先着順)
費 1,500円(材料代含む)
持 手拭き、カッターナイフ、B・2B・4Bの鉛筆、消しゴム、ティッシュペーパー、持ち帰り用の袋
申 1月4日9時から電話
問 野々下福祉会館 ☎7145-9500
ID 1048076

★子どもの自閉症支援講座(全3回)

日 2月5日・12日・19日の水曜10時～12時 所 東深井福祉会館 講 医療法人聖峰会岡田病院・岡田剛さん、千葉県発達障害者支援センターCAS・吉田五月さん、柏市自閉症協会会長・細田智子さん
対 市内在住・在勤・在学で自閉症に関心のある方 定 15人(先着順) 費 500円
持 筆記用具 申 1月6日9時から電話、ファクスまたは直接窓口へ
問 障害者福祉センター ☎7155-3638
FAX 7153-3437

★文化会館の講座・イベント

①スマートフォン講座
スマートフォンの使い方でお悩みの方は、この機会にぜひお申し込みください。
日 2月6日(木)14時～16時 内 スマホの基本とLINE体験 定 12人(先着順)
持 筆記用具※スマートフォンは貸し出す端末を使用 申 電話
ID 1047426

②高校演劇フェスティバル in ながれやま20分シアター vol.15
今回のテーマは「コンプライアンス」
日 2月9日(日)9時30分～16時20分(9時15分開場)※入退場自由 申 不要
▷参加校(予定)＝流山高校、流山おおたかの森高校、東葛飾高校、県立柏高校、柏中央高校、柏の葉高校、流通経済大学付属柏高校、野田中央高校、西武台千葉高校、柏南高校、柏陵高校、日本体育大学柏高校、芝浦工業大学柏高校、松戸馬橋高校、松戸国際高校、専修大学松戸中学・高校
ID 1048121

③子育てパパのセミナー
子育ての悩みを共有しませんか
日 2月16日(日)10時～11時30分
講 NPO法人ファザーリング・ジャパン理事・村上誠さん 対 市内在住の未就学児の父親 定 20人(先着順)※1歳6カ月～就学前児の一時保育あり(先着3人。2月3日までに要申し込み) 持 筆記用具
申 電子申請
ID 1048190

④初めてのレザークラフト
イニシャル入りキーケースを作ろう
日 2月27日(木)10時～11時30分
対 市内在住の大人 定 12人(先着順)
持 カッターナイフ



申 電子申請
ID 1048095
【共通事項】
所 文化会館
費 ①②③無料④260円
問 文化会館 ☎7158-3462



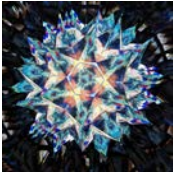
展示

★利根運河のお正月

①新春を祝う門松と書の展示
門松と、「流山カルタ」の読み札や新春を祝う掛け軸など、市内在住の書家・茂野奈園さん、茂野昊龍さんが筆を振るった書道作品を展示します。
日 開催中～1月26日(日)9時～17時
所 運河駅ギャラリー(運河駅自由通路内)
②流山カルタ展
流山の風景を描き続けた画家、故・鈴木心平さんが描いた流山カルタの絵札を展示します。運河駅ギャラリーで展示中の流山カルタの読み札と併せてお楽しみください。
日 1月8日(火)～26日(日)9時～17時
所 利根運河交流館
【共通事項】
問 利根運河交流館 ☎7153-8555
(月・火曜休館、祝日の場合は翌日)

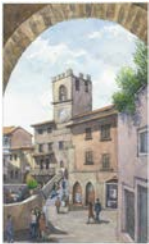
★万華鏡ウィンターコレクション

市内在住の世界的な万華鏡作家・中里保子さんをはじめ、国内外の作家による雪の結晶や冬の夜空などをイメージした、白やブルーが基調の作品を展示します。また、のぞいたものを万華鏡に映し出すテレイドスコープも展示します。
日 1月7日(火)～2月9日(日)10時～17時
所 流山万華鏡ギャラリー&ミュージアム
費 無料
問 同ミュージアム ☎7190-5100
(月曜休館、祝日の場合は翌日)



★街並スケッチ講座の受講生と講師による水彩画作品展

日 2月9日(日)～16日(日)9時～18時(9日は13時から、16日は15時まで)
所 生涯学習センター(流山エルズ) 費 無料
問 生涯学習センター(流山エルズ)
☎7150-7474



1月 相談あんない

相談日が年始や祝日などの場合は休みとなります。事前に問い合わせを。
ID 1002359

市民相談室の相談(予約制)

月～金曜(8時30分～17時)
☎7158-1616 ID 1002360
●行政相談
月曜(10時～15時)
●法律相談
火・木曜(13時～15時40分)
●登記相談
8日(13時～15時40分)
●暮らしの手続き相談
15日(10時～12時)
●不動産相談
15日(13時～16時30分)
●交通事故相談
20日(10時～15時)

●税務相談
22日(10時～16時30分)
●人権相談
27日(10時～15時)

その他の相談

●消費生活相談
月～金曜(9時～16時30分)
消費生活センター
問 同センター ☎7158-0999
●女性の生き方相談
(予約優先、電話相談可)
金曜(10時～16時)※31日を除く
市民相談室
問 企画政策課男女共同参画室
☎7150-6091
ID 1003431
●職業相談・紹介
月～金曜(9時30分～17時)
問 地域職業相談室(ジョブサポート流山)
☎7156-7888
ID 1004348

●心配ごと相談
水曜(13時～15時30分)
ケアセンター
問 同相談所 ☎7159-4970
●遺言・相続無料相談(予約制)
18日(13時30分～16時30分)
北部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)※先着3人
問 同相談室 ☎7155-5366
●おやこあんしん相談(電話相談可)
月～金曜(9時～16時)
子ども家庭課
問 おやこあんしんダイヤル
☎7158-1710
●子ども家庭悩みごと相談
月～金曜(9時～17時)
家庭児童相談室
問 同相談室 ☎7158-4144
●ひとり親家庭相談
就労や資格取得など
月～金曜(9時～17時)
子ども家庭課
問 ひとり親家庭相談ダイヤル
☎7150-6592

●障害者就労相談(予約制)
月～金曜、第4日曜(9時～17時)
障害者就労支援センター
問 同センター ☎7155-6421
●幼児教育相談・就園相談
月・火・木曜(9時～14時)
問 幼児教育支援センター
☎7154-8781
●教育相談
月～金曜(9時～16時30分)
※第3水曜を除く
教育研究企画室
問 教育相談室 ☎7150-8390
●青少年相談
月～金曜(9時30分～16時30分)
※第3水曜は電話相談のみ
青少年指導センター
問 同センター相談室
☎7158-7830
ID 1001622
●心の相談(予約制)
9日(12時30分～15時30分)
心の相談室
問 障害者支援課 ☎7150-6081

●こどもの療育相談(予約制)
月～金曜、第3土曜(9時～16時)
児童発達支援センターつばさ内療育相談室
問 療育相談室 ☎7154-4844
ID 1041911
●酒害相談
7日・24日
(18時30分～20時30分)
江戸川台福祉会館
問 流山断酒新生活会
☎080-4618-1631
●わが家の耐震相談・無料診断
月～金曜(9時～16時)
平成12年以前建築の木造住宅対象
問 建築住宅課 ☎7150-6088
●外国人相談
月・水・金曜(10時～16時)
国際理解サポートセンター(江戸川台駅前庁舎3階)
問 同センター ☎7128-6007
✉nifa-support@bz04.plala.or.jp
ID 1008962



体験農園の利用者を募集 野菜作りを学びませんか



市内の体験農園では、野菜作りの知識や用具がない方でも安心して農業の専門家から野菜作りの基本を学べます。初めての方でも土作りから収穫まで楽しめますので、週末の家族の触れ合いや新たな趣味の一つとして、また、健康維持の一環として体験農園をご利用ください。

農園名	体験農園野良	オーチャード・ガーデン (株)水代果樹園 ※水の配管、物置(有料)、駐車場あり	シェア畑 流山おおたかの森 久兵衛	シェア畑 南流山
所在地	上貝塚104	向小金3ー179	おおたかの森北 2ー46ー7東側	思井1ー2ー2 東側畑
期間	3月～令和8年2月(12カ月)		12カ月から	
区画面積	1区画40平方メートル	1区画20平方メートル	1区画3または 10平方メートル	1区画3または 8平方メートル
講義・指導	第1・3土曜	月1回(3～10月)	月1回程度の栽培講習会、 週3～4回菜園アドバイザー出勤	
費用 (1期)	3万円(使用料、講義・指導料、種苗代、肥料代含む) ※化学肥料不使用	3万円(使用料、講義・指導料、春秋2回の種苗代含む)	月額6,400円から (入会金別途)	
作付け 品目	枝豆、ジャガイモ、トマト、ナス、キュウリ ほか	ピーマン、シントウ、トマト、ナス、キュウリ ほか	トマト、キュウリ、ハクサイ、キャベツなど約20種類	
申し込み	電話、ファクスまたはメール(先着順)	電話、ファクスまたは直接窓口で随時受け付け	電話またはメールで随時受け付け	
問い合わせ	福井☎090-8007-0391 FAX 7155-7383 ✉nofukui@fa2.so-net.ne.jp	同果樹園 ☎7174-4451 FAX 7175-2566	(株)アグリメディア ☎0120-831-296 ✉mail@sharebatake.com	

☎農業振興課☎7150-6086 ID1002229

1月12日(日)

令和7年成人式 ～二十歳の集い～を開催

成人式(手話通訳、要約筆記あり)は、キックマンアリーナで2回に分けて開催します。対象となる方には案内状をお送りしていますが、以前流山市に住んでいた方などは、案内状がなくても出席できます(当日会場で受け付け)。

なお、会場は全て禁煙・禁酒です(酒気帯びでの入場も不可)。詳細は市ホームページをご覧ください。



	開催日	時間	対象(注)
第1回	1月12日(日)	10時から (9時30分から受け付け)	北部中・東部中・東深井中・南流山中学校を卒業された方
第2回		12時30分から (12時から受け付け)	南部中・常盤松中・八木中・西初石中・おおたかの森中学校を卒業された方

注:市外の中学校を卒業された方、転入・転出された方、指定された回での参加が難しい方は、どちらの回でも参加できます(事前連絡は不要)。なお、会場で上映されるビデオレターの内容は、対象の中学校を卒業された方向けになります。

☎文化芸術・生涯学習課☎7150-6106 ID1014320

1月11日(土)

消防出初式を開催



消防の事始めを祝う新春恒例の消防出初式。消防業務に功績のあった方の表彰を行うほか、消防職員や消防団員による消防演技などを披露します。

☎1月11日(土)9時30分から(消防演技は10時30分ごろから) ☎文化会館

☎消防総務課☎7158-0299

流山をA・R・U・K・U 開運ツアー おびしゃ行事と本町の七福神をめぐる

流山本町の七福神と雷神社を巡る開運ツアーを開催します。

☎1月19日(日)13時～15時30分 ☎流山おおたかの森駅前観光情報センター ▶コース＝同観光情報センター→(バス移動)→流山寺(大黒天)→長流寺(恵比寿)→平和台駅→(電車移動)→鰐ヶ崎駅→雷神社※現地解散。雷神社では、市指定無形民俗文化財の伝統行事



「鰐ヶ崎おびしゃ行事」を見学

☎16人(先着順) 費300円(保険代)※交通費実費

☎1月6日9時から電話または直接窓口へ ☎同観光情報センター☎7186-7625

市指定無形民俗文化財

鰐ヶ崎おびしゃ行事とは？

五穀豊穡や家内安全を祈願する行事で、七福神に扮した当番が弓矢で鬼の的を射抜く「歩射」が見どころ。一般の方の観覧も可。

☎1月19日(日)15時～17時(予定)

☎雷神社(鰐ヶ崎)

ながスク おおたか補助金 ポイント説明

☎1月19日(日)14時～16時※2月22日に模擬プレゼンテーション講座も実施

☎生涯学習センター(流山エルズ)※オンライン会議アプリ「Zoom」での参加も可

☎15人※Zoomは20人(いずれも先着順)

費無料 持筆記用具

☎申込専用フォーム(=二次元コード)または市民活動推進

センターに電話、メール

☎市民活動推進センター☎7150-4355

✉na-shimin@machikatsu.co.jp



流山エルズ チャレンジド・ステージ2025 障害者文化芸術活動推進事業

ダンスや和太鼓、軽音楽バンド、ハンドベル演奏、チアダンス、手話ソング、歌などの15団体がステージを盛り上げます。

☎2月2日(日)10時30分～12時(10時10分開場)、13時45分～16時(13時30分開場)

☎生涯学習センター(流山エルズ)

☎各200人(先着順)

費無料

☎不要

☎生涯学習センター(流山エルズ)

☎7150-7474



キッズイベント



親子たこあげ大会

(流山市青少年育成会議主催)

手作りや市販のたこで揚げた高さなどを競いましょう。

☎1月18日(土)9時30分～12時30分(9時15分から受け付け)※小雨決行

☎ほっとプラザ下花輪(下花輪福祉会館)

☎50組(先着順)※お子さん1人につき保護者1人以上

費無料

◆たこづくり教室も同時開催

教室で作ったたこでも大会に参加できます。

☎小学2年生以上のお子さんとその保護者

☎20組(先着順)

費500円(材料代)

【共通事項】

☎1月7日8時30分から市役所文化芸術・生涯学習課へ電話

☎文化芸術・生涯学習課

☎7150-6106

ID1027761



乳幼児をもつ方の交流の場

●南流山ぽかぽかサロン

ミニイベントは図書館司書によるお話会です。おもちゃ病院もあります。

☎1月16日(木)10時～11時30分

☎南流山福祉会館

☎20組(先着順)

持バスタオル

☎電子申請

●ひだまりサロン

自由に遊んだりおしゃべりしたりします。

☎1月21日(火)・28日(火)10時～11時30分

☎文化会館 ☎電話

【共通事項】

費無料

☎文化会館☎7158-3462

ID1001275



各公民館の子育てサロン

●なかよしひろば

☎1月15日(水)10時～11時30分

☎北部公民館

☎流山音楽療法「元気にドレミ」・小金丸

尚子さん、岩附敬子さん

☎リトミック ☎20組(先着順)

費無料 ☎不要

☎北部公民館☎7153-0567

●たんぽぽのひろば

☎1月16日(木)10時～11時30分

☎東部公民館 ☎流山音楽療法「元気にドレミ」・小金丸尚子さん

☎リトミック

☎20組(先着順) 費無料

☎電話または直接窓口へ

☎東部公民館☎7144-2988

児童館・児童センター 1月の催し物

☎同各児童館・児童センター ID1001236

会場	日程	催し物
駒木台児童館 ☎7154-4821	6日(月)～8日(水)	お正月遊び(小学生向け)
	25日(土)	家族であそぼう(年長～小学校低学年向け) ☎15組(先着順)※要申し込み
江戸川台児童センター ☎7154-3015	18日(土)	パパといっしょ(乳幼児向け) ☎10組(先着順)※要申し込み ダイビン大会(小学生向け) ☎20人(先着順)※要申し込み
赤城児童センター ☎7158-4545	6日(月)	カルタ大会(小学生向け)
	11日(土)	ダイビン大会(小学生向け)
十太夫児童センター ☎7154-5254	21日(火)～25日(土)	おたんじょうびの子あつまれ(小学生向け)
野々下児童センター ☎7136-2510	29日(水)	人形劇(乳幼児向け) ☎30組(先着順)※要申し込み
	7日(火)	ドッジボール大会(小学生向け)
思井児童センター ☎7159-5666	27日(月)	おもちゃ病院(乳幼児向け)
	7日(火)	羽根つき大会(小学生向け)
向小金児童センター ☎7186-7714	18日(土)	ドッジボール大会(小学生向け)
	4日(土)	お正月あそび(小学生向け)
おおたかの森児童センター ☎7150-7331	27日(月)	リフレッシュフラ(乳幼児向け) ☎20組(先着順)※要申し込み
	25日(土)	パパといっしょ(①ハイハイ期②歩き始めのお子さん向け) ☎各15組(先着順)※要申し込み
サンコーテクノプラザ 南流山児童センター ☎7157-2729	29日(水)	絵本で運動感覚あそび(0-1歳児向け) ☎15組(先着順)※要申し込み
	5日(日)～31日(金)	今月の工作(小学生向け)
	13日(木)	ファミリーDay